

健康診断だより

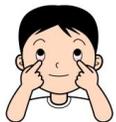
眼科検診 編

- 〈学校医〉 先生 ()
- 〈日時〉 6月13日(火) 9:50~
- 〈場所〉 保健室
- 〈実施順序〉 きずな → 1-1 → 1-2 → 2-1 → 2-2 → 3-1 → 3-2 → 3-3
- 〈備考〉 当日の朝は顔を洗い、目やに等を落としておきます。
メガネは外して行きます。
コンタクトはつけたまま行きます。

眼科検診の受け方

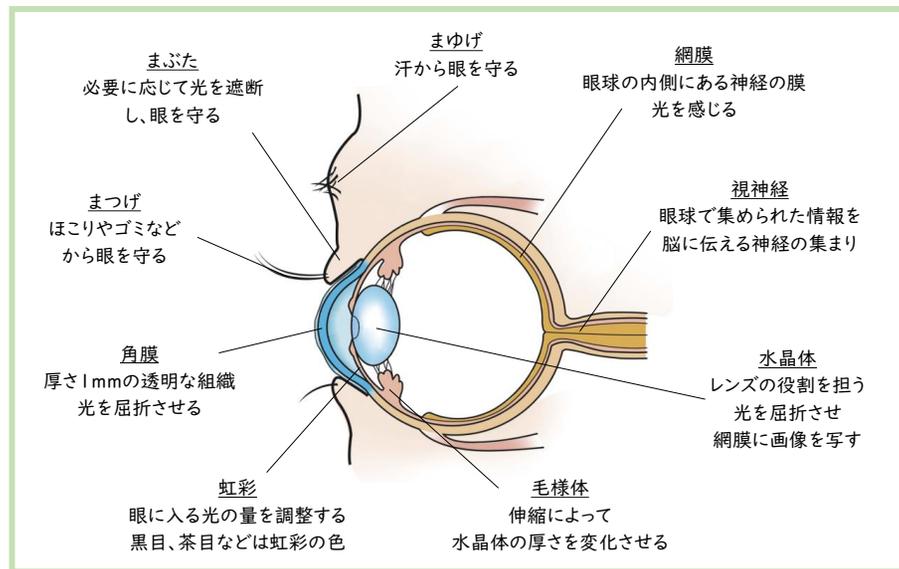
- ①校医さんにあいさつ・名前を言います。


〇〇 〇〇です。
よろしくお願いします。
- ②校医さんの持つライトをまっすぐ見ます。

- ③下まぶたを自分で引き下げます。

- ④お礼のあいさつをします。


ありがとうございました。

ちょっと解剖学「眼」



眼科検診で分かること

アレルギー性結膜炎

眼の不快感やかゆみ、ひどくなると痛みや涙、目やにが出るようになります。眼をこすって角膜を傷つけてしまうことも少なくありません。

プールに入るときは、ゴーグルの使用がおすすめです。



麦粒腫 (ばくりゅうしゅ)

一般的に“ものもらい”と言われるものです。まぶたの汗腺や脂腺に細菌が感染して起こります。まぶたの一部が赤く腫れ、軽い痛みやかゆみを伴います。

治療には、抗生物質の点眼や内服が必要です。眼をこすらず、悪化する前に眼科へ行きましょう。



色覚異常の疑い

男性の20人に1人、女性の500人に1人の割合で先天性異常がみられます。色覚異常は、色が全く分からないのではなく、色によって見分けにくいことがあります。たとえば、赤と緑、橙と黄緑、茶色と緑、緑と灰色・黒、ピンクと白・灰色、青と紫、赤と黒、ピンクと水色…などです。

赤橙黄
緑青茶
紫桃白
灰黒

自覚のない場合も多く、検査を受けるまで気づかないことも少なくありません。

霰粒腫 (さんりゅうしゅ)

まぶたの中に小さくて固い腫瘍(しゅりょう)ができます。マイボーム腺(油分を分泌する腺)の出口が詰まることで起こります。痛みやかゆみはないですが、まぶたの腫れや異物感があります。

治療は、手術で霰粒腫を包んでいる袋ごと摘出する必要があります。自然に治ることはまずないため、早めに眼科へ行きましょう。